學　報
Kobe　College　Bulletin

ISSN0389－164X
NO. 1 8 9
2020. 7 .27
神戸女学院
学報委員会

中高部長就任にあたり

中高部長　森谷　典史

前中高部長の林真理子先生の任期満了、退職の後を受け、2020年４月１日より、第16代目の中高部長に就任いたしました。

部長就任式では、私には３つのミッションがあるということをお話ししました。その３つとは、

１つ目は私生活のことです。（これについては就任式のお話から想像できると思います。）

２つ目は、神様を信じて、生きていく人を増やしたいということです。

３つ目は、神様の願いにこたえることができる神戸女学院であり続けるように頑張っていくことです。

私はこの学校に勤めることができて本当に良かったと感じ、あらためて感謝をしたいと思います。誰に感謝をしたいのかと問われると、私をここに導いてくれた神様、どんな時も私に希望を与えてくれる家族、そして、こんな私を支え励ましてくれる教職員と、生徒の皆さんです。毎朝の礼拝の中で、色々な行事の委員長やリーダーとなった生徒たちは、「私は本当にこの仕事ができるのだろうかと悩みましたが、助けてくれる人、相談に乗ってくれる人、一緒にいてくれて支えてくれる人たちによって果たすことができました。」と言ってくれます。私も同じことをこの学校で働きながら感じていました。

４月部長就任、そして、入学式、始業式。その後新型コロナウイルス感染症のために緊急事態宣言がなされ、学校は約２か月間の臨時休校となりました。始業式に急いで、オンライン授業のためのIDとパスワードを配布し、先生方には準備をしていただき、４月23日より配信をスタートしました。使っていたシステムが利用者急増のために、つながりにくい問題が生じ、生徒の皆さん、先生方には不安と心配をおかけすることとなってしまいました。しかし、何とか皆さんそれぞれに工夫をして対応していただき感謝をいたします。

６月１日より、学校を再開することができました。第２波に備えて、別のシステムも準備し、６月４日から17日の半数登校の間に生徒への説明を完了することができました。もしもの時にはもう少しスムースな対応ができるものと考えています。

臨時休校中、先生たちは授業を配信し、今後のことについての議論を重ねました。普段とは違う授業などもあり、少しは楽しめたかなと思います。素早

い対応ができないこともあり、生徒、保護者の方々は少しイライラすることがあったかもしれませんが、学校側の対応を信じ、お待ちいただいことに感謝をいたします。

残念なことは、生徒の皆さんが楽しみにしていた、体育祭を中止としたこと。夏のクラブ合宿や、夏の修養会、オーストラリアスタディーツアー、エンパワーメントプログラムなどの夏休み期間中におこなわれる予定であった行事を中止としたことです。体育祭については代々の生徒の皆さんが大切に守り続けてきた行事で、今年はこうしようと考えていた皆さんにとってはとても残念なことだと感じています。S3の体育祭にかかわる生徒の皆さんからはビデオレターのようなものをいただきました。その中で、一人一人が体育祭に対する思いを表しているのですが、見ていて、実施できなくなることが本当につらく感じました。改めて、中高部では、一つひとつの行事によって、生徒たちの中に、友情や、結びつきを作り出し、成長させていくものになっていることを感じました。

9月におこなわれる予定の文化祭につきましては、校外用文化祭につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のために中止としましたが、校内用文化祭は、規模や内容を縮小し、新しい企画で実施できるように現在進めている最中です。文化祭は、日ごろのクラブ活動や、自分自身を表現する場としてまたそれを生徒たちが運営していくものとして、大切な行事の一つです。朝の礼拝後さっそく、文化祭企画実行委員会の各長よりいろいろな提案や募集がはじまりました。教員が考えていることをこえて、いろいろなことを考えているようです。その一つ一つのメッセージの中に希望があり、勇気づけられるものとなっています。何とか新型コロナウイルス感染症が終息し、考え出された一つ一つのことが実行されますようにと祈ります。

礼拝につきましては、6月1日より中高部では、講堂での礼拝が実施できないため、放送により礼拝を続けています。奨励者は今感じていることをよく準備をした言葉を用いて、みんなに語りかけてくれます。表情が見えないのが残念なのですが、皆静かに自分自身を見つめなおし、一人の人間として神様を愛し、隣人を愛していく生き方、今自分は何をしたらよいのかということを考えてくれていると思っています。

マタイによる福音書の「タラントンのたとえ話」にあるように、私たちは神様から与えられたそれぞれの能力に応じ精一杯生きることが神様に喜ばれ、また、人々に喜ばれることだと信じています。与えられている条件が十分でないこともありますが、そのことに不平不満を言うのではなく、そのような状況であっても、どのような工夫をすればよいのか、どのようにみんなに協力してもらう体制を作り出せばよいのかと考え、できることを精一杯していくことが大切だと考えています。そうすることによって、本当に何が必要で、何が必要でないかということが見えてくると思うのです。人から与えられることを期待し、与えられない、自分の思いが通らないと不満を言うのではなく、自分はどんなことを人にしてあげることができるのだろうと考え、それを実践できる人となりたいと考えます。こういうことを言うと、損をするからいやだという人がいますが、それは神様を知らないからだと思うのです。自分の持っている能力は、神様から与えられています。その能力を他の人に使うことにより、また神様から、必要な力は与えられます。このことに気が付くと、人に与えることが損だとは思わなくなると思います。人に自分のすべてを与えることで、神様からの愛を感じ、幸せを感じる人となっていただきたいと考えます。

神様によって建てられた、この学校では神様を愛すること、隣人を愛すること、つまり愛神愛隣が永久標語とされています。それがなされている学校であると思いますし、そうあり続けたいと感じています。

神様に導かれて、この学院に集っている一人一人、特に若い学生生徒の皆さんが神様との出会いに気づき、学校生活の中で、友人と切磋琢磨しあいながら互いに助け合い、自分の持っている力を発揮し、神様、隣人がいつも自分のことを信じて、支えてくれているのだと信じることができるように学校の環境を整えてまいりたいと考えています。そして、磨いた賜物を社会に愛をもって与えていくことができるひと、貢献することができるひとへと、生徒たちが育っていくことができるように私自身、尽力していきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症への対応（学院）

今般の新型コロナウイルス感染症による混乱は、なお現在進行形の最中にあります。以下、今春からの対応を途中経過として報告いたします。

記録を繰りますと、神戸女学院では２月上旬に新型コロナウイルス感染症流行を視野に収めた意見交換をし、中高、大学それぞれに、行事などに関わる対応のシミュレーションをお願いしました。それが２月27日(木)に突如発せられた一斉休校要請により一気に具体化を迫られました。その後、高等学部の卒業式から教育・運営に関わる大半のスケジュールが影響を受けたことは他の報告にある通りです。

学院ではまず３月２日(月)に最初の基本方針を立て、再検証も重ねました。基本方針は「感染拡大防止」「関係者すべての安全確保」「学院運営上最低限の業務継続」「必要な情報の公開」「自己申告による不利益の除去」を柱とします。細かい説明はできませんが、生徒・学生をはじめご家族、同窓生、取引先、教職員、さらに関係する方々への配慮、すなわち教育機関が社会の公器として可能な限り責任と役割を果たすことを主意とします。この根底には聖書の語る他者への奉仕という思いがあったと認識しています。

４月７日(火)の緊急事態宣言発令以降は５月６日(水)まで休業期間とし、入構制限をおこないました(５月21日(木)の近畿三府県緊急事態宣言解除後、５月末まで)。とはいえ、この間も教職員は遠隔授業の準備や生徒・学生の皆さんの学修環境整備のためそれぞれの場で職務にあたりました。学院では危機管理委員会を中心に状況分析と問題解決のための努めを継続し、政府が発するコメント等にも対応しました。この不安の中、めぐみ会様が生徒・学生のため緊急支援奨学金を申し出、神戸女学院教育振興会様が奨学金のために特別なお心遣いをくださいましたことに大きな勇気をいただきました。記して感謝申し上げます。

（理事長・院長　飯 謙）

新型コロナウイルス感染症への対応（大学）

新型コロナウイルス感染症は、２月以降急速な拡大を見せ、４月７日(火)には兵庫県を含む７都府県、16日(木)には全国に緊急事態宣言が発せられるに至った。

これを受けて、緊急事態宣言以前より部分的な入構・登校制限措置は講じていたが、宣言以降、学生の入構・登校禁止、閉寮、授業の全面遠隔化などの一連の措置をとった。学生の皆さんにとっては唐突で閉鎖的に映ったかもしれないが、全国的な外出自粛などの一連の感染防止政策の流れの中での断腸の思いでの決断であったことはご理解いただきたい。

一方で、ネット環境、パソコン環境などの問題、また、アルバイトなどができない環境に追い込まれた学生のための一律の緊急支援給付金、また、緊急支援奨学金などの学生支援の措置も並行しておこない、少しでもより良い学修環境を確保してもらえるように努めた。

現在、緊急事態宣言、外出自粛要請などが段階的に解除されつつはあるが、第二波のリスクなどもあり、全国各地からの学生が登校する大学においては、一度に入構・登校制限を解除するのが難しい情勢である。しかしながら、前期中に開始しないと卒業・修了に関わる授業、例えば、音楽学部のレッスン、人間科学部の実験・実習などについては、６月より対面での授業の許可をはじめたところである。このような措置については、必要に応じて大学での議事を経て拡大する方針である。図書館利用についても、少しずつではあるが段階的に利用の幅を広げていただいている。

授業については、遠隔であることの問題点も多くあるが、遠隔授業の方が授業運営がうまく進む部分もあり、今後の大学としての授業運営の方針に生かしていきたい。

後期授業はおそらく全学生登校してのものとなると期待すると同時にそう予測してはいるが、感染拡大防止策をとりつつどう授業をおこなうかなど、課題は多くある。しかしながら、少しずつ大学のあるべき状況を回復するという希望を持って、大学としても徐々に歩を進めている。

（副学長・教務部長　立石 浩一）

新型コロナウイルス感染症流行への対応（中高部）

日々刻々と状況が変化する中、諸行事を実施するか、難しい判断を迫られ、日常の学校活動、行事等の大幅な変更を余儀なくされました。中高部教職員は、基本的には学院の方針に従いながら、自宅待機、在宅勤務をしました。事務室は閉室を基本とし、必要に応じて不定期で任務に当たることもありました。臨時休校中の保護者・生徒からの連絡手段は中高部代表メールや担当者のメールとし、随時関係する担当者より即時対応するように努めました。

生徒、教職員の安全を第一に、学校再開に向けて対処しました。時系列でご報告いたします。

２月26日（水）　卒業祝賀会中止、卒業式に在校生・来賓の参加中止、讃美歌コンクール、Ｊ送別会、キャリアガイダンス講演会、春休み中の合宿、期末テスト後の校外学習、校内での体育祭の練習、クラブ活動、有志活動すべて中止を決定。関係者に周知。

２月27日（木）　夕刻に安倍首相の「３月２日（月）からの全国一斉休校要請」報道があり、急遽２月28日（金）に予定していた高等学部卒業式リハーサル日に卒業式を簡素に挙行することを決定。緊急お知らせメールで関係者に配信。

２月28日（金）　高等学部卒業式（卒業生と参列できる教職員のみで卒業式を執りおこなった。）

中学部卒業式、Ｊ１デイキャンプの中止を決定。HP に３月２日（月）から３月19日（木）までの休校、その間１日程度の登校日を設けることを掲載。

３月17日（火）　Ｊ３、Ｓ１、Ｓ２は教科書販売のため学年ごとに１時間のみ時差登校。

３月18日（水）　Ｊ１、Ｊ２は教科書配布のため学年ごとに１時間のみ時差登校。

３月19日（木）　在校生に向け、４月１日（水）から４月７日（火）まで引き続き登校禁止を周知。

３月26日（木）　HP に、以下の行事変更を掲載。
４月中の行事の中止（春の遠足、春の子ども会、授業参観日、P.T.A. 総会）。
ゴールデンウイーク明けに延期（Ｊクラブめぐり、Ｊ仮入部）。ゴールデンウイーク以後に延期、ただし状況により中止（Ｓ生徒総会、Ｊ新入生歓迎会）。
夏休みの行事の中止（オーストラリアスタディツアー）。

４月７日（火）　中学部入学式（保護者参列なしで実施）。HP に４月９日（木）から５月６日（水）までの休校を掲載。

４月８日（水）　高等学部入学式（保護者参列なしで実施）。Ｊ２、Ｊ３、Ｓ２、Ｓ３は学年ごとに時差登校し、始業式。礼拝は放送礼拝。

４月９日（木）　在校生に、Ｊ生徒総会、体育祭、リーダーシップトレーニングキャンプ、エンパワーメントプログラム、夏の修養会（白浜訪問、広島訪問、釜ヶ崎訪問）、夏の合宿（文化祭企画実行委員会合宿も含む）、夏山登山の中止を周知。

４月10日（金）　Classi を利用した授業配信の練習を開始。

４月23日（木）　すべての教科で Classi を利用した授業配信を開始（～６月３日（水）までおこなった）。

４月30日（木）　５月31日（日）までの臨時休校延長を決定。

５月26日（火）　６月１日（月）より再開を決定。

６月１日（月）から６月３日（水）　分散登校開始。礼拝は放送礼拝。

Ｊ１

	６月１日（月）	６月２日（火）	６月３日（水）
10:00～11:30	Ｊ１全員	ＡＢ組（奇数番号）	ＣＤ組（奇数番号）
13:00～14:30		ＡＢ組（偶数番号）	ＣＤ組（偶数番号）

Ｊ２～Ｓ２

	６月１日（月）	６月２日（火）	６月３日（水）
10:00～11:30	Ａ組（奇数番号）	Ｂ組（奇数番号）	Ｃ組（奇数番号）
13:00～14:30	Ａ組（偶数番号）	Ｂ組（偶数番号）	Ｃ組（偶数番号）

Ｓ３

	６月１日（月）	６月２日（火）	６月３日（水）
10:00～11:30		ＡＢ組（奇数番号）	Ｃ組（奇数番号）
13:00～14:30	Ｓ３全員	ＡＢ組（偶数番号）	Ｃ組（偶数番号）

６月４日（木）～17日（水）　クラスを半数に分けて授業を開始。礼拝は放送礼拝。６月４日（木）は奇数番号の生徒、５日（金）は偶数番号の生徒、というように交互にその曜日の時間割を実施し、２週間かけて１週間分の授業を進めた。ただし、９時始業、40分短縮授業、15時終了、課外活動は中止。座席は１席ずつ空けた。教員は、昼休みには教室共用部の消毒、放課後には教室共用部と机、椅子の消毒作業をおこなった。

６月18日（木）～　一斉登校開始。礼拝は放送礼拝。ただし、９時始業、40分短縮授業、課外活動を再開。17時30分までの活動可。

６月25日（木）～　通常授業、通常下校時間に戻す。当面は放送礼拝を続ける。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

１学期の終業日は８月７日（金）。２学期の始業日は８月24日（月）。おそらく、中高部史上一番短い夏休み期間となります。

（中高部教頭　北田 京子）

KCCだより

コーベ・カレッジ・コーポレーション（Kobe College Corporation）は、1920年に神戸女学院のキャンパス移転の資金援助のため設立された、アメリカ合衆国イリノイ州を本拠地とする非営利団体（NPO）です。以来日米両国の学生生徒ならびに教員のためにさまざまな文化交流の機会を創出するなど、有形無形の力強い支援をおこない、神戸女学院はその活動によって大きな恩恵を受けてきました。2004年、KCC はその活動範囲を拡大するために、名前の後に“Japan Education Exchange”という副称を付け加えて、通称 KCC-JEE となりました。
KCC-JEE は発足100周年のお祝いを2020年９月にシカゴにておこなわれる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、お祝いが延期となりました。今回は、前回のボードメンバー紹介に続き、2019年度に新規メンバーとして加わっていただいた３名のご紹介を水野多美さん（KCC-JEE 理事、学校法人神戸女学院評議員）がまとめてくださいました。

Ｑ１：name：氏名
Ｑ２：Since when did you join the board?：
いつから理事として活動しているか？
担当役は？
Ｑ３：What are you doing as a daily life?：
日常生活では何をしていますか？
Ｑ４：Relationship to KC：
KC との関わりは？
Ｑ５：What are the happiest things?：
何をすることが一番幸せですか？
Ｑ６：Any Comments：
何かコメントがございましたら

1. Toyoko Kodama
2. September 2019
3. I work on water and sanitation projects in developing countries at the World Bank.
4. Ｉ graduated from KCHS in 1991 and KC in 1995（108 E112）.
5. I love to spend time with my family, especially my nieces and nephew. I feel the happiest when I see them growing strong and healthy.
6. My family has a long affiliation with KC. I myself was taught by Mrs. Larson and many other Gottschalk teachers. I feel fortunate to be able to return back to the college and also be able to reunited with old friends and teachers from KC.

1. 児玉十代子
2. 2019年９月
100年祭の Fundraising の為に、シカゴ日本商工会を通して、企業との連携を探ったり、国際交流基金など日本との文化交流を促進する団体へのコンタクトなど、広報を兼ねての活動を検討中。
3. 世界銀行にて発展途上国における水セクターの案件に従事しています。以前は、モンゴル、中国へよく出張していました。最近の出張先はタンザニアやブータンへ出かけていたが、コロナ禍で、３月中旬から在宅勤務中、６月現在。
4. 中高部、大学卒業生（108回生　大Ｅ112回生）
5. 家族（特に甥っ子姪っ子たち）と一緒に過ごす時間を大切にしています。子どもたちが健やかに成長しているのを実感できる時が一番幸せです。
6. 私の家族は神戸女学院との関係が深く、私自身も故ラーソン先生やその他多くの KCC から派遣された先生方に教えていただきました。理事として働くことによって神戸女学院に恩返しができることのほか、懐かしい友人や先生方と再会できることをとても幸せに思っています。

1. Liv Coleman
2. I joined the board in 2019
3. I am Department Chair and Associate Professor of Political Science and International Studies at the University of Tampa.
4. I received a KCC-JEE Graduate Fellowship to do doctoral research in Japan in 2004-2005. I visited KC once during that time. I am happy to be on the board to help an organization that has helped me so much in my career.
5. I enjoy cats, gardening, and being active in politics in my local community.

1. リブ　コールマン
2. 2019年
3. タンパ大学（フロリダ州）、政治学と国際研究の部長と教授として活動。
4. 2004年～2005年
   KCC-JEE Graduate Fellowship で日本にて博士課程の研究をおこないました。その際に、KC へも訪問しました。自分のキャリアにとって大きな助けとなった団体を手伝うことができるボードメンバーになったことは大変うれしく思っています。
5. 猫たちと遊び、お庭つくりを楽しみ、地元での政治運動に関わっていることを楽しんでいます。

---

1. Abbi Mayland
2. I joined the board in the fall of 2019. I am a part of the Gottschalk Teacher Recruitment, Internship, and Publicity committees. I also organized and hosted KC students last summer when they visited Minnesota.
3. I am a Curriculum Specialist at a career and technical school in Minneapolis, but I am also a trained English Language teacher.
4. I was a Gottschalk Teacher of English from 2017-2019.
5. The happiest thing to me is seeing my friends and family happy and healthy.
6. Everyone at KC was so welcoming to me that I am glad that I am able to stay connected by serving on the board.

1. アビ　メイランド
2. 2019年から。Gottschalk Teacher Recruitment、インターンシップ、広報のコミッティにて活動中。
3. ミネアポリスのキャリア技術学校にてカリキュラム・スペシャリストとして働いている。英語の先生としての経験もある。
4. 2017年～2019年　Gottschalk Teacher として中高部での英語教師を務めた。
5. 私にとって幸せなことは、家族・友人たちが健康で幸せでいることを見ること。
6. KC で仕事をしていた間、すべての人たちから良くしていただき、KC との繋がりが KCC ボードメンバーとして続いていくことが嬉しい。

2019年 9 月　年次総会にて。
左上：Abbi Mayland
前列より二段目　左から二人目：Liv Coleman
前列より三段目　左から二人目：Toyoko Kodama

神戸女学院教育振興会寄付金

新型コロナウイルス感染症流行にともなう緊急支援をお願いしております。皆さまそれぞれのご事情を弁えず、失礼もあるかと存じますが、何卒ご容赦いただけますようお願い申し上げます。

なお、2020年度については特にご指定のない限りご芳志の全額を「生徒・学生の支援」に充てさせていただきます。

神戸女学院教育振興会ホームページ
（スマートフォンにも対応しています）

神戸女学院教育振興会　検索

平素より神戸女学院教育振興会募金事業にご厚志ならびにご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年度のご寄付実績を下記の通りご報告申し上げます。ご芳志は特にご指定のない限り「岡田山キャンパス改修費用」「学生生徒の奨学基金」に折半して活用させていただきます。

区　　分	件数／冊数	金額(円)
同窓生	687件	17,044,700
在校生	—	—
保護者（大学・中高）	174件	12,778,000
役員（教職員を除く）	19件	950,000
教職員・旧教職員	59件	2,665,000
法人・団体	21件	2,627,983
一般有志	7件	4,320,100
金銭によるご寄付計	967件	40,385,783
古本募金によるご寄付	11,911冊	920,587
寄付金額合計		41,306,370

※複数の区分に該当する方の場合は、事務処理上妥当と思われる区分を選択しております。

神戸女学院2019年度決算報告、2020年度事業計画及び2020年度予算

2019年度に実施した事業の内容及び2020年度事業計画は、『2019年度事業報告書』に記載しております。以下の本学院ホームページをご覧ください。
http://www.kobe-c.ac.jp/foundation/financial/index.html
また、当該ホームページ上では、決算書も公開しておりますので、併せてご参照ください。

Ⅰ．2019年度神戸女学院決算報告

１．事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、③その他の活動に対応する事業活動の収支出の内容を示し、すべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためにおこなうものです。2019年度の事業活動収支計算書の概要は以下の通りです。

（１）教育活動収支差額

教育活動収入は、学校法人の本業である教育活動からの収入です。2019年度の教育活動収入は、49億49百万円で、前年度比１億８百万円の減少となりました。内訳をみますと、学生生徒等納付金41億32百万円は前年度比で18百万円増加したほか、経常費等補助金４億41百万円は前年度比11百万円の増加となりました。一方、寄付金は、71百万円と高額の寄付をいただいた前年度に比べ53百万円の減少となりました。また、私立大学退職金財団等交付金の減少により、雑収入が１億42百万円と前年度比78百万円減少したことも、教育活動収入の減少に影響しました。

教育活動支出は、学校法人の本業である教育活動に関する支出です。2019年度の教育活動支出は、49億28百万円で前年度比１億４百万円の減少となりました。内訳をみると、人件費30億98万円は前年度比64百万円の減少となりました。これは、退職金に係る人件費が減少したことによります。このほか、教育研究経費15億11百万円は前年度比16百万円の減少、管理経費３億18百万円は前年度比23百万円の減少となりました。

以上の結果、教育活動収支差額は20百万円の黒字となりました。前年度比では５百万円の減少となっています。

（２）経常収支差額

教育活動外収入と教育外活動支出は、経常的な資金調達・運用といった財務活動に伴う収支です。2019年度の教育外活動収入は、第３号基本金特定資産に含まれていた有価証券の売却益47百万円などにより受取利息・配当金が85百万円と前年度比32百万円の増加となっております。

経常収支差額は、教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加算した額です。2019年度の経常収支差額は、１億４百万円の黒字と前年度比27百万円の増加となりました。

（３）基本金組入前当年度収支差額

特別収入は、有価証券売却差額や施設設備補助金中心に47百万円となり、前年度比18百万円の増加となりました。一方、主に施設・設備等の資産処分差額により構成される特別支出は10百万円となり、前年度比１百万円増となりました。この結果、特別収支差額は、36百万円の黒字と前年度比16百万円の増加となりました。

経常収支差額に特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額は、１億41百万円となり、前年度比43百万円の増加となりました。

2019年度の基本金組入額合計は、学院隣接土地の購入等により４億95百万円となったことから、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引いた当年度収支差額は、３億53百万円の赤字となり、前年度比２億71百万円の赤字幅拡大となりました。

２．資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに支払資金（現預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。事業活動収支計算書と資金収支計算書はその作成目的が異なるため、事業活動収支計算書では資金の出入りを伴わない項目も計上されますが、資金収支計算書では資金の出入りが反映されます。例えば、有価証券の売却をおこなった場合、事業活動収支計算書では、売却収入と有価証券の簿価（有価証券の取得価額）の差額が資産売却差額（または資産処分差額）として処理されますが、資金収支計算書では、売却収入額が計上されます。2019年度の資金収支計算書の概要は以下の通りです。

（１）収入の部

以下、2019年度の資金収支の収入の部について説明しますが、事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

資産売却収入には、有価証券の売却収入４億20百

事業活動収支計算書 （単位：百万円）

		科目	本年度予算	本年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,132	4,132	4,114	18
		手数料	101	97	107	△ 10
		寄付金	66	71	124	△ 53
		経常費等補助金	446	441	430	11
		付随事業収入	62	63	59	4
		雑収入	124	142	220	△ 78
		教育活動収入計	4,932	4,949	5,057	△ 108
	事業活動支出の部	人件費	3,066	3,098	3,162	△ 64
		教育研究経費	1,527	1,511	1,527	△ 16
		管理経費	315	318	341	△ 23
		徴収不能額等	—	0	—	0
		教育活動支出計	4,908	4,928	5,032	△ 104
		教育活動収支差額	**23**	**20**	**25**	**△ 5**
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	80	85	53	32
		教育活動外収入計	80	85	53	32
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0
		教育活動外収支差額	**79**	**84**	**52**	**32**
		経常収支差額	**102**	**104**	**77**	**27**
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	14	14	0	14
		その他の特別収入	29	33	29	4
		特別収入計	43	47	29	18
	事業活動支出の部	資産処分差額	8	10	7	3
		その他の特別支出	0	0	2	△ 2
		特別支出計	8	10	9	1
		特別収支差額	**35**	**36**	**20**	**16**
基本金組入前当年度収支差額			138	141	98	43
基本金組入額合計			△ 502	△ 495	△ 180	△ 315
当年度収支差額			△ 363	△ 353	△ 82	△ 271
前年度繰越収支差額			△1,298	△1,298	△1,216	△ 82
基本金取崩額			—	0	—	0
翌年度繰越収支差額			△1,662	△1,652	△1,298	△ 354
（参考）						
事業活動収入計			5,056	5,081	5,140	△ 59
事業活動支出計			4,917	4,940	5,042	△ 102

資金収支計算書 （単位：百万円）

収入の部

科目	本年度予算	本年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
学生生徒等納付金収入	4,132	4,132	4,114	18
手数料収入	101	97	107	△ 10
寄付金収入	66	71	124	△ 53
補助金収入	474	469	458	11
資産売却収入	420	420	0	420
付随事業・収益事業収入	62	63	59	4
受取利息・配当金収入	80	85	53	32
雑収入	106	127	219	△ 92
借入金等収入	—	—	—	—
前受金収入	695	681	716	△ 35
その他の収入	258	2,110	140	1,970
資金収入調整勘定	△ 759	△ 777	△ 882	105
前年度繰越支払資金	3,118	3,118	2,993	125
収入の部合計	8,755	10,601	8,106	2,495

支出の部

科目	本年度予算	本年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
人件費支出	3,061	3,094	3,170	△ 76
教育研究経費支出	1,203	1,187	1,198	△ 11
管理経費支出	287	290	314	△ 24
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	13	13	13	0
施設関係支出	408	414	62	352
設備関係支出	83	84	119	△ 35
資産運用支出	93	2,101	109	1,992
その他の支出	204	195	198	△ 3
資金支出調整勘定	△ 110	△ 128	△ 197	69
翌年度繰越支払資金	3,509	3,346	3,118	228
支出の部合計	8,755	10,601	8,106	2,495
（参考）				
収入の部合計-前年度繰越支払資金	5,637	7,483	5,113	2,370
支出の部合計-翌年度繰越支払資金	5,246	7,255	4,988	2,267

万円（前年度なし）が計上されています。借入金等収入は2019年度もありませんでした。前受金収入は、６億81百万円と前年度比35百万円減少しました。また、その他の収入には、第３号基本金引当特定資産及び岡田山建築保存引当特定資産に含まれる有価証券の売却に伴う特定資産取崩収入16億１百万円を中心に21億10百万円となり、前年度比19億70百万円の増加となりました。

前期末前受金及び期末未収入金（資金収入調整勘定）を控除し、前年度繰越支払資金を加算した収入の部合計は、106億１百万円となり、前年度比では24億95百万円の増加となっています。

（２）支出の部

次に、2019年度の支出の部について説明します。収入の部同様に、事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

借入金返済支出は、2019年度も約定返済を実施しており前年度と同額の13百万円となりました。施設関係支出は、学院隣地購入を中心に４億14百万円となり、前年度比で３億52百万円の増加となりました。設備関係支出は、視聴覚施設の充実、エアコン整備、トイレ改修等により84百万円となり、前年度比では35百万円の減少となっています。資産運用支出は、第３号基本金引当特定資産、岡田山建築保存引当特定資産等に含まれる有価証券の売却等による有価証券から預金への振替に伴う繰入支出18億１百万円を含む21億１百万円となり、前年度比では19億92百万円の増加となりました。前期末前払金及び期末未払金（資金支出調整勘定）を控除し、翌年度繰越支払資金を加算した支出の部合計は、106億１百万円で、前年度比では24億95百万円の増加となりました。

3．貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末の財政状態（運用形態と調達源泉）を明らかにするものです。2019年度の貸借対照表の概要は次の通りです。

（1）資産の部

2019年度末の固定資産は、154億40百万円と前年度比45百万円の減少となりました。前年度比減少となったのは、有形固定資産が土地の増加を中心に1億56百万円の増加となったほか、特定資産が第3号基本金特定資産の積立等に伴い56百万円の増加となったものの、その他の固定資産が有価証券の売却、貸与奨学金の回収により、2億57百万円の減少となったことによります。

2019年度末の流動資産は34億21百万円となり、前年度比では、現金預金の増加を中心に、71百万円の増加となりました。

2019年度末の資産の部合計は、188億61百万円と前年度比26百万円の増加となりました。

（2）負債の部

2019年度末の固定負債は、15億82百万円と前年度比26百万円の減少となりました。これは、私立学校振興・共済事業団からの長期借入金の約定返済により13百万円の減少となったほか、退職給与引当金の14百万円の減少等によるものです。

2019年度末の流動負債は、9億42百万円と前年度比89百万円の減少となりました。前年度減少の内訳をみると、未払金、前受金が減少しています。

2019年度末の負債の部合計は、25億24百万円と前年度比1億15百万円の減少となりました。

（3）純資産の部

2019年度末の基本金は、179億89百万円と前年度比4億95百万円の増加となりました。前年度比の内訳は、土地購入、設備拡充により第1号基本金※が4億18百万円増加、第3号基本金※※が77百万円増加しております。

2019年度末の繰越収支差額は△16億52百万円となり、前年度比で、事業活動収支における当年度収支差額（△3億53百万円）相当額、マイナス幅が拡大しております。

Ⅱ．2020年度事業計画（2020年3月25日　理事会承認）

1．大学

大学では次の重点項目を定め、これらを踏まえた施策・全学的取り組みを優先し採択しました。

①学修環境の充実　②広報　③国際化の推進
④社会連携の強化　⑤リベラルアーツ教育の推進

貸借対照表　（単位：百万円）

資産の部

科目	本年度末（A）	前年度末（B）	増減（A）-（B）
固定資産	15,440	15,485	△ 45
有形固定資産	8,604	8,448	156
土地	1,691	1,340	351
建物	3,912	4,056	△ 144
構築物	449	474	△ 25
教育研究用機器備品	456	494	△ 38
管理用機器備品	28	30	△ 2
図書	2,064	2,050	14
車両	0	1	△ 1
建設仮勘定	—	—	—
特定資産	6,445	6,389	56
第3号基本金引当特定資産	1,707	1,630	77
退職給与引当特定資産	1,424	1,438	△ 14
減価償却引当特定資産	3,136	3,136	0
岡田山建築保存引当特定資産	175	184	△ 9
その他の固定資産	390	647	△ 257
電話加入権	3	3	0
ソフトウェア	32	48	△ 16
有価証券	200	406	△ 206
差入保証金	3	3	0
出資金	21	20	1
貸与奨学金	129	162	△ 33
その他	0	0	0
流動資産	3,421	3,350	71
現金預金	3,328	3,100	228
修学旅行費預り資産	18	17	1
未収入金	60	212	△ 152
前払金	14	20	△ 6
資産の部合計	18,861	18,835	26

負債の部

科目	本年度末（A）	前年度末（B）	増減（A）-（B）
固定負債	1,582	1,608	△ 26
長期借入金	157	170	△ 13
長期未払金	—	—	—
退職給与引当金	1,424	1,438	△ 14
流動負債	942	1,031	△ 89
短期借入金	13	13	0
未払金	117	189	△ 72
前受金	681	716	△ 35
預り金	110	94	16
修学旅行費預り金	18	17	1
負債の部合計	2,524	2,639	△ 115

純資産の部

科目	本年度末（A）	前年度末（B）	増減（A）-（B）
基本金	17,989	17,494	495
第1号基本金	15,928	15,510	418
第3号基本金	1,707	1,630	77
第4号基本金	354	354	—
繰越収支差額	△1,652	△1,298	△ 354
翌年度繰越収支差額	△1,652	△1,298	△ 354
純資産の部合計	16,337	16,195	142

負債及び純資産の部合計	18,861	18,835	26

重点項目別の主な事業計画は以下のとおりです。

①学修環境の充実

・本学のIT環境基盤（ネットワーク、パソコン教室、サーバシステム）を引き続き安定的に維持運営するための支援を受けます。

・2021年度に予定しているネットワークシステムのリプレイスに向けて、現状の問題点の洗い出しと最新の関連技術などの収集、次期システムの要求仕様の作成の支援を受けます。当支援により、関連した最新技術を把握した上での次期システム設計が可能になります。

・Windows 7のサポート終了に伴い、デフォレスト館設置の証明書発行機関係の機器を更新します。同時に学生証の認証をICカード化し、カードの磁気不良により頻発していた煩雑な手続きを解消します。

・クラブ室エアコン設置事業の2年目として、クローバー館クラブ室（20室）のエアコン設置を完了します。

・学生寮の学習・生活環境の向上を図るため、学習机にデスクマットの設置、家電の買替え、浴室・シャワー室の脱衣棚の改修をおこないます。

・本学図書館システムを国立情報学研究所（NII）が2020年に運用を開始するシステム（CAT2020）に対応させるための作業をおこないます。
本学図書館蔵書検索システム（OPAC）で、図書・雑誌だけでなく電子ブックも検索できるように仕様変更します。

・図書館新館地下2階の電動式集密書架制御装置の製本雑誌収納書架1カ所の交換作業をおこないます。2016年度から進めてきた事業が完了し、より安定的に使用することができるようになります。

・入学式、卒業式などに活用されている動画配信サーバー、レコーダーの更新を引き続きおこないます。反転授業や教材としての動画活用が促進されることで、より良い学修環境、研究環境の提供につながります。

・文学館中教室（L-3、L-7、L-10）の視聴覚設備の改修をおこないます。デフォレスト館大教室ならびにエミリー・ブラウン記念館中教室の映像音響設備の改修を完了します。映像音響環境の充実により、英語リスニングなどの環境差がなくなり学修環境の向上につながります。

・文学館L-4、L-13の机ならびに椅子を、クローバーゼミなどアクティブラーニング系授業に対応しやすい可動式のものに入れ替えます。英語自学自習ツール（ATR）を2020年度も引き続き導入し、学生の英語4技能の強化を図ります。

②広報

・2017年度から継続しているブランディング施策の一環として、2020年度は東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、これまでの電車の車内広告に加え、航空機の機内誌に新たに広告を出稿し、本学の教育内容の認知向上を図ります。

・学生や卒業生の活躍、教員の活動、ゼミでの活動など、「本学の今の動き」をより具体的に発信するオウンドメディアを新規構築します。

・音楽学科の2020年度定期演奏会では、4年に一度の「メサイア」の公演のほか、舞踊専攻の卒業公演、年度公演も引き続きおこないます。

③国際化の推進

・TOEIC講座受講料の補助、TOEICテスト受験料、IELTSテスト受験料の補助を引き続きおこないます。

・派遣留学に必要な外国語スコア取得を目指し、英語：IELTS、中国語：HSK、韓国語：ハングル検定の課外補修講座を引き続き開講します。また留学が決定した学生向けに、ネット型課外英会話講座も継続します。

・海外大学との交流促進のための国際教育交流フェアへ教職員を派遣し、既存の協定校との面談のほか、新規協定校開拓の機会を作ります。

・GE161(2)履修者全員にEXPOCITY内のOsaka English Villageへの参加を義務づけることで、英語コミュニケーション能力の向上を目指した取り組みを継続します。「英語手帳」を使った学習も継続します。

・英文学科1年生の希望者を対象として開講する英語コミュニケーション能力強化短期集中プログラムに、経費負担の補助をおこないます。

・遠隔同時会議・通訳システムを引き続き活用し、海外とライブで双方向的な授業を展開します。学生の国際感覚の醸成、語学力の向上に加え、研究面では遠隔地との会議の簡易化を図ります。

・2004年に提携した文学研究科とケンブリッジ大学クレアホールとの協定を更新（2020年～2024年）し、大学院生、本学教員に引き続き充実した研究活動の機会を提供します。

④社会連携の強化

・東京音楽大学、昭和音楽大学との音大連携による講座を継続し、ザルツブルク音楽院のウェブレッスン等を実施します。

・2018年度から開始した英文学科２～３年生対象の「戦略的人生設計への試み」を継続し、多様な業界の方々による講演会、グローバル企業でのインターンシップ、メンタリングセッションなどを実施します。
・2020年度も研究室における食品や化粧品の研究成果を基に、企業と産学連携をおこない、本学にふさわしい大学ブランド商品を開発します。

⑤リベラルアーツ教育の推進

卒業時アンケートに加え、入学時のアンケートを新たに実施し、在学中のリベラルアーツ教育・カリキュラムの効果測定をおこないます。学修成果を可視化し、全学的な IR の取り組みにつなげます。

２．中高部

・卓越した学習環境の中で、キリスト教教育、リベラルアーツ教育、国際理解教育、生徒主体の学校生活により、豊かな人間性とリーダーシップを育める教育を目指し、具体的には、①学修環境の充実、 ②カリキュラムの充実、③国際理解教育の充実、④一人ひとりの生徒へのきめ細かい学修支援に取り組みます。特に、2020年度は、IT センターコンピュータシステムの更新を図ります。

３．法人部門

・創立150周年に向けた取り組みとして、スローガンやステートメントの策定を目指し、それに紐づく事業を計画します。
・阪神・淡路大震災から25年の節目として、災害時に備え、学内事業者との連携強化及び各建物に防災グッズの配備を順次進めます。
・「働き方改革」推進に向けて、業務等の適正化を図ります。
・創立150周年に向けたキャンパス再整備計画推進のためのマスタープランの検討を継続します。
・古い型式のボイラー設備を廃止するため、文学館・図書館本館の空調熱源の屋外移設改修設計をおこないます。
・経年により防水機能が損なわれているタルカット館、ミリアム館屋上の防水改修をおこないます。
・設置後40年近く経過した変電設備・トランスの更新をおこないます。
・2020年度末に廃棄処理が必要な PCB 使用機器を適正に処分します。
・経年劣化により性能が低下しているエアコンの改修をおこないます。
・これまで計画的に進めてきた照明器具の LED 化を継続して進めます。
・設置後20年以上経過しているアンジー・クルー館、ジュリア・ダッドレー館の昇降機について更新を図ります。
・2018年度に藤棚側におこなった芝生の張替えについて、2020年度はグラウンド側で実施します。
・旅費規程の見直し作業を継続し、旅費関連事務の標準化を図ります。
・2016年度より開始したセキュリティ向上については、警備業者からのアドバイスを受けつつ、学院内のセキュリティ向上を図ります。

Ⅲ．2020年度予算書

2020年度事業活動収支予算書の概要は以下の通りです。

事業活動収支予算書　（単位：百万円）

		科目	金額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,063
		手数料	98
		寄付金	70
		経常費等補助金	461
		付随事業収入	61
		雑収入	115
		教育活動収入計	4,869
	事業活動支出の部	人件費	3,110
		教育研究経費	1,436
		管理経費	300
		徴収不能額等	—
		教育活動支出計	4,846
		教育活動収支差額	**22**
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	29
		その他の教育活動外収入	—
		教育活動外収入計	29
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	—
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	**28**
		経常収支差額	**51**
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	—
		その他の特別収入	11
		特別収入計	11
	事業活動支出の部	資産処分差額	6
		その他の特別支出	—
		特別支出計	6
		特別収支差額	**5**
基本金組入前当年度収支差額			56
基本金組入額合計			△ 163
当年度収支差額			△ 106

（参考）

事業活動収入計	4,910
事業活動支出計	4,853

大 学 報 告

2019年度　神戸女学院大学図書館報告

1．統計

• 蔵書数

	2019年度受入	2019年度末現在
和書	2,853冊	265,285冊
洋書	420冊	172,510冊
合計	3,273冊	437,795冊
AV 資料	7点	4,161点

• 2019年度貸出状況

学　生	教職員	外来者
25,548冊	3,862冊	1,023冊

• 2019年度相互利用

	文献複写	図書貸借	閲覧	照会
依頼	463件	84件	11件	1 件
受付	330件	30件	8件	9 件

2．受入図書

• 教育資料費による購入図書

『猟奇』復刻版 ほか　　計 7 タイトル　233冊

• 寄贈図書

『平生釟三郎』復刻版 ほか　　計121冊

3．その他

• クラス別ガイダンス　　35回実施

（図書館課長）

2020年度　大学・大学院入学試験結果概要

●大　学

学　部	学　　科	入学定員	入学者数
文学部	英文学科	150	162
	総合文化学科	200	225
音楽学部	音楽学科	46	39
人間科学部	心理・行動科学科	90	114
	環境・バイオサイエンス学科	80	83
合　　計		566	623

●大　学〔編入学（３年次）〕

学　部	学　　科	入学定員	入学者数
音楽学部	音楽学科	1	0

●大学院（修士課程・博士前期課程）

研究科	専　　攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	13	3
	比較文化学専攻	5	3
人間科学研究科	人間科学専攻	10	10
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	7	10
合　　計		35	26

●大学院（博士後期課程）

研究科	専　　攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	2	0
	比較文化学専攻	2	0
人間科学研究科	人間科学専攻	2	0
合　　計		6	0

2020年度　在籍学生数

（2020年５月１日現在）

●大　学

学年＼学部・学科		文学部			音楽学部	人間科学部			合計
		英文学科	総合文化学科	小計	音楽学科	心理・行動科学科	環境・バイオサイエンス学科	小計	
1年	20000	162	225	387	39	114	83	197	623
2年	19000	158	224	382	48	106	102	208	638
3年	18000	169	234	403	25	109	77	186	614
4年	17000	172	235	407	44	112	95	207	658
	16000	13	12	25	2	4	5	9	36
	15000	1	8	9	1	3	0	3	13
	14000	0	0	0	0	0	1	1	1
	13000	1	0	1	0	1	0	1	2
合　計		676	938	1614	159	449	363	812	2585

●大学院修士課程・博士前期課程

学年＼研究科・専攻		文学研究科			人間科学研究科	音楽研究科	合計
		英文学	比較文化学	小　計	人間科学	音楽芸術表現	
1年	2000	3	3	6	10	10	26
2年	1900	3	1	4	13	7	24
	1800	0	1	1	0	1	2
	1700	2	1	3	0	0	3
	1600	0	0	0	0	0	0
	1500	0	0	0	0	0	0
合　計		8	6	14	23	18	55

●大学院博士後期課程

学年＼研究科・専攻		文学研究科			人間科学研究科	合計
		英文学	比較文化学	小　計	人間科学	
1年	2000	0	0	0	0	0
2年	1900	0	2	2	2	4
3年	1800	0	0	0	1	1
	1700	0	0	0	0	0
	1600	0	0	0	0	0
	1500	0	0	0	0	0
合　計		0	2	2	3	5

●科目等履修生

学　部	9
大学院	0

●聴講生

学　部	2
大学院	7

2019年度　就職状況報告

学　　科	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率 就職決定者／就職希望者	進学者数 大学院	就職率 就職決定者／(卒業者－院進学者)
英　　文	165	151	149	98.7%	1	90.9%
総合文化	219	203	198	97.5%	1	90.8%
音　　楽	44	23	23	100.0%	8	63.9%
心理・行動科	95	83	83	100.0%	5	92.2%
環境・バイオサイエンス	76	68	68	100.0%	7	98.6%
合計	599	528	521	98.7%	22	90.3%

（2020年４月末現在）

2019年度は経団連から政府主導に変更となりましたが、「就活ルール」が引き続き踏襲され、採用広報活動が３月１日に解禁となりました。

しかしながらここ数年の傾向としてインターンシップから採用選考に入る企業が増加しており、一部の学生は３月以前から企業と接触、就職活動の長期化が懸念されます。

2019年度も業界、従業員規模により差はありますが、全体として企業の採用意欲は高く学生にとって「売り手市場」に変わりなく就職環境は良好だったといえます。

2019年度卒業生の就職率（就職希望者に対する就職者の割合）は98.7％で、0.1ポイント落ちましたが前年度並みとなりました。

就職状況／規模別では大企業（従業員1000人以上）への就職割合については47.2％と昨年度より1.1ポイント下落、中企業（従業員300名以上1000名未満）は昨年同様の23.2％、小企業（従業員300名未満）は微減となり、昨年度と同程度の数値となりました。

産業別では、卸売・小売業が19.0％と前年を5.1ポイント上回りました。金融・保険業（前年度比2.1ポイント減）及びサービス業（同4.0ポイント増）は共に15.2％となりました。次いで運輸業、製造業、情報通信業が続いています。

今年も航空は客室乗務職、地上職併せて32名となり、昨年（37名）と変わらず高い数字となりました。

2020年２月以降、新型コロナウイルスの影響で我々の生活環境が全く変わってしまいました。当然企業の採用状況も大幅に変更となり、先行きが不透明となっています。キャリアセンターの学生への就活サポートも WEB を利用したものに大幅に変更しています。

キャリアセンターでは企業の人事担当者、就職情報提供企業などから情報収集をおこない、学生が戸惑うことなく納得のいく就職活動に取り組めるよう鋭意努力していく所存です。

（キャリアセンター課長）

主な就職先

建設業
関電プラント／大和ハウス工業／三菱日立パワーシステムズインダストリー

製造業
あみだ池大黒／イーグル工業／井村屋グループ／オリエンタルモーター／オリバー／オンワード樫山／関包スチール／山陽特殊製鋼／ジャヴァコーポレーション／住友ゴム工業／住友電気工業／セイバン／積水化成品工業／タカラスタンダード／テルモ／日本精工／日本圧着端子製造／日本サンガリアベバレッジカンパニー／日本製薬／ノエビア／バンドー化学／福井村田製作所／ポッカサッポロフード＆ビバレッジ／前田製菓／ミキモト／ムーンバット／村田製作所／ローム／ロックペイント

電気業
九州電力

情報通信業
NHK 旭川放送局／愛媛朝日テレビ／NTT ファシリティーズ関西／NTT フィールドテクノ／キヤノンシステムアンドサポート／住友化学システムサービス／住友電工情報システム／ダイワボウ情報システム／T&D 情報システム／トランスコスモス／日本アイ・ビー・エム／富士ソフト／富士テレコム／USEN-NEXT GROUP

運輸業、郵便業
全日本空輸／ANA ウイングス／ANA エアポートサービス／ANA 大阪空港／ANA 関西空港／ANA スカイビルサービス／ANA テレマート／日本航空／JAL スカイ大阪／JAL ナビア／日本トランスオーシャン航空／ドリームスカイ名古屋／K スカイ／ジェイアール東海パッセンジャーズ／西日本旅客鉄道／上組／神鋼物流／住友倉庫／三菱倉庫／三井倉庫ロジスティクス／ヤマトロジスティクス／郵船ロジスティクス

卸売業、小売業
アズワン／エコートレーディング／大月真珠／加藤産業／サンセイテクノス／住商 CRM／第一実業／布亀／富士貿易／山善／青山商事／近鉄百貨店／資生堂ジャパン／生活協同組合コープこうべ／博多大丸／阪急阪神百貨店／ホンダカーズ大阪／ロクシタンジャポン

金融業、保険業
三菱 UFJ 銀行／ゆうちょ銀行／りそな銀行／日本マスタートラスト信託銀行／三井住友信託銀行／池田泉州銀行／関西みらい銀行／紀陽銀行／南都銀行／阿波銀行／西日本シティ銀行／大阪信用金庫／北おおさか信用金庫／近畿産業信用組合／尼崎信用金庫／神戸信用金庫／兵庫県信用組合／SMBC 日興証券／大和証券／野村證券／ソニー損害保険／損害保険ジャパン日本興亜／チューリッヒ保険会社／三井住友海上火災保険／MYJ／住友生命保険／大同生命保険／日本生命保険／明治安田生命保険／兵庫六甲農業協同組合／ジェーシービー

不動産業
住友不動産販売／積水ハウス不動産関西／東急リバブル／三井不動産リアルティ

宿泊業、飲食サービス業
ANA クラウンプラザホテル大阪／近鉄・都ホテルズ／コンラッド大阪／ホテルオークラ神戸／リゾートトラスト／スターバックスコーヒージャパン

医療、福祉
淀川キリスト教病院

教育、学習支援業
福岡市中学校教員／アップ／NOVA ホールディングス／ベルリッツ・ジャパン／ヤマハミュージックリテイリング

サービス業
一般社団法人日本自動車連盟／エイチ・アイ・エス／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構／セコム／綜合警備保障／日本旅行／パーソルテンプスタッフ／バリューマネジメント／阪急交通社／PwC 京都監査法人／ベネフィット・ワン／三菱電機エンジニアリング

公務
防衛省航空自衛隊／大阪府／大阪市／富田林市／兵庫県／尼崎市／神戸市／高砂市／奈良市／四国中央市

その他
日本年金機構

主な進学先

英文学科
兵庫教育大学大学院　学校教育研究科

総合文化学科
神戸女学院大学大学院　文学研究科

音楽学科
神戸女学院大学大学院　音楽研究科

心理・行動科学科
神戸女学院大学大学院　人間科学研究科／奈良大学大学院　社会学研究科

環境・バイオサイエンス学科
神戸女学院大学大学院　人間科学研究科／山梨大学大学院　医工農学総合教育部／神戸大学大学院　人間発達環境学研究科／兵庫県立大学大学院　緑環境景観マネジメント研究科／奈良先端科学技術大学院大学　先端科学技術研究科

2020年度　キャリアサポートプログラム（予定）

◆３年生対象

4/15(水)　就職ガイダンス①
4/22(水)　インターンシップガイダンス
5/13(水)　インターンシップ選考対策講座①（基本編）
5/20(水)　インターンシップ選考対策講座②（書類対策編）
5/27(水)　インターンシップ選考対策講座③（ES 実践編）
6/ 3(水)　インターンシップ選考対策講座④（社会人マナー編）
6/10(水)　SPI 対策講座（入門編）
6/17(水)　《就活ベーシック講座①》「自己 PR」入門
6/24(水)　SPI 模試【事前登録制】
7/ 1(水)　《就活ベーシック講座②》
　履歴書＋エントリーシート
7/ 8(水)　《就活ベーシック講座③》職種研究
7/15(水)　《就活ベーシック講座④》企業・業界研究
7/22(水)　《就活ベーシック講座⑤》志望動機
8/19(水)～21(金)　自己分析とコミュニケーション講座
　【事前申込制】
8/24(月)～28(金)　KC エアラインスクール【有料】
9/16(水)～18(金)　初期選考突破のための特訓講座：
　SPI 編
9/30(水)　インターンシップ事後研修会
10/ 7(水)　就職ガイダンス②
10/14(水)　《就活ベーシック講座⑥》就活マナー編
10/15(木)、16(金)、19(月)
　言語・非言語 Web テスト【事前申込制】
10/21(水)　《就活ベーシック講座⑦》筆記試験
10/28(水)　《就活アドバンスト講座①》
　グループディスカッション
11/ 4(水)　《就活アドバンスト講座②》面接
11/11(水)　MOVICATION：面接編
11/17(火)～19(木)　《就活アドバンスト講座③》
　グループディスカッション　実践編①
　【事前申込制】
12/ 2(水)　《就活アドバンスト講座④》
　模擬面接ミニ講座
12/ 5(土)　OG 訪問会
12/ 8(火)～11(金)　学内証明写真撮影会【事前申込制】
12/ 8(火)～11(金)　《就活アドバンスト講座⑤》
　模擬面接実践編
1/13(水)　企業・業界の選び方セミナー
1/27(水)　就活総おさらいセミナー
1/28(木)　《就活アドバンスト講座⑥》
　グループディスカッション　実践編②
　【事前申込制】
2/ 1(月)～5(金)　《就活アドバンスト講座⑦》
　面接体験講座【事前申込制】
2/ 1(月)～3(水)　言語・非言語 Web テスト
　【事前申込制】
2/ 1(月)　就職ガイダンス③
2/ 4(木)　お勧め企業紹介セミナー：
　学内セミナー参加企業編
2/ 4(木)　お勧め企業紹介セミナー：OG 企業編
2/ 5(金)　《就活アドバンスト講座⑧》
　グループディスカッション　実践編③
　【事前申込制】
2/ 8(月)　初期選考直前対策講座：
　SPI テストセンター編
2/ 9(火)　初期選考直前対策講座：
　履歴書・ES 編　【有料】
3/ 3(水)　模擬面接講座①
3/ 5(金)　模擬面接講座②
3/10(水)　模擬面接講座③
3/12(金)　模擬面接講座④
3/17(水)　模擬面接講座⑤
3/19(金)　模擬面接講座⑥
3/24(水)　模擬面接講座⑦
3/26(金)　模擬面接講座⑧
3/31(水)　模擬面接講座⑨

※このほか、後期に自己分析サポート面談、ゼミ訪問等を実施する予定。

◆４年生対象

4/ 2(木)　模擬面接講座①
4/10(金)　模擬面接講座②
4/17(金)　模擬面接講座③
4/20(月)　就活総おさらいセミナー
　（就活対策パッケージ）
5/ 8(金)　模擬面接講座④
5/15(金)　模擬面接講座⑤
5/22(金)　模擬面接講座⑥
5/29(金)　模擬面接講座⑦
６月　模擬面接講座⑧⑨
６～９月　WORK FIT

※キャリアカウンセラーによる面談は前期中毎日実施。６月以降も必要に応じて模擬面接講座、振り返りの講座等を実施する予定。

◆２年生対象

6/19(金)　進路ガイダンス
1/22(金)　就職ガイダンス

◆１年生対象

7/ 3(金)　キャリアガイダンス
9/25(金)　１年生のためのキャリアデザインセミナー

◆１～３年生対象

5/15(金)　公務員ガイダンス①
5/22(金)　公務員ガイダンス②
5/29(金)　公務員受験対策講座説明会
　神戸市によるガイダンス
10月～11月　仕事発見セミナー（金曜日）
10月～11月　業界探究セミナー（金曜日）
12/ 4(金)　地方就職セミナー
２月　企業研究セミナー

中高部報告

中高部図書室報告

Ⅰ．2019年度の主なできごと

蔵書点検　2019年７月17日（水）～25日（木）
　　７日間

読書会　　2020年２月５日（水）　Ｊ１～Ｓ２

Ⅱ．ａ 2019年度増加図書冊数（資産化図書）

	購入	寄贈	移管	合計
和漢書	7	0	0	7
洋　書	0	0	0	0
合計（冊）	7	0	0	7

ｂ 1972年以降受け入れ図書の蔵書冊数の増減
（資産化図書）

2019年度　増加数	7
2019年度　除籍数	463
蔵書数（冊）	6,479

ｃ 消耗図書費の蔵書冊数の増減

2019年度　増加数	1,727
2019年度　除籍数	1,281
蔵書数（冊）	56,258

Ⅲ．2019年度貸し出し冊数

Ｊ１	6,722
Ｊ２	3,283
Ｊ３	2,192
Ｓ１	1,736
Ｓ２	375
Ｓ３	368
教職員	927
大学生・大学院生	1
その他	321
合計（冊）	15,925

貸し出し日数　210日
（３月２日からの休校21日間含む。
生徒登校日２日間は生徒利用あり。）
１日平均　75冊

（中高部図書室司書教諭）

2020年度中学部入学試験結果報告

日程：2020年１月18日（土）・20日（月）

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
135	240	240	153	143

（中高部事務室）

新型コロナウイルス感染症流行による臨時休校、遠隔授業化により、誌面を大幅に変更して発行させていただきます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年７月　神戸女学院学報委員会

〈学 院 日 誌〉

４月１日(水)	**新任教職員就任式** **オリエンテーション** **墓前礼拝**（中止）
４月２日(木)	**臨時評議員会**
４月３日(金)	**大学・大学院入学式**（中止） **学生寮入寮式**（中止）
４月６日(月)	**中高部教員会議**
４月７日(火)	**中学部入学式**（保護者参列なしで実施）
４月８日(水)	**大学前期授業開始の延期を決定** （遠隔授業：５月７日 対面授業：５月14日より） **高等学部入学式**（保護者参列なしで実施）Ｊ２、Ｊ３、Ｓ２、Ｓ３は学年毎の時差登校による始業式
４月９日(木)～５月６日(水)	**緊急事態宣言発令による学院休業**
４月９日(木)～５月31日(日)	**新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中高部臨時休校措置**
４月17日(金)	**教授会**
４月22日(水)	**理事会**
４月27日(月)	**大学前期授業の全面遠隔授業化を決定**
５月15日(金)	**教授会**
５月21日(木)	**創立者記念日墓前礼拝**（中止）
５月22日(金)	**創立者記念日**
５月23日(土)	**愛校バザー**（中止）
５月26日(火)	**中高部教員会議**
５月27日(水)	**理事会**
５月29日(金)	**評議員会** **中高部教員会議**
６月２日(火)	**中高部体育祭**（中止）
６月10日(水)	**中高部教員会議**
６月17日(水)	**中高部教員会議**
６月19日(金)	**教授会**
６月21日(日)	**オープンキャンパス**（中止）
６月24日(水)	**理事会** **神戸女学院教育振興会役員会** **中高部教員会議**
６月29日(月)	**第１回学長候補者選考委員会**
７月８日(水)	**学院中長期計画に関する懇談会** **中高部教員会議**
７月17日(金)	**教授会**
７月20日(月)	**第２回学長候補者選考委員会**
７月22日(水)	**理事会**
７月26日(日)	**WEB オープンキャンパス**
７月30日(木)	**中高部教員会議**
８月２日(日)	**WEB オープンキャンパス**
８月７日(金)	**大学前期授業終了** **中高部終業式**

目　次

中高部長就任にあたり……1
新型コロナウイルス感染症への対応（学院）…3
新型コロナウイルス感染症への対応（大学）…3
新型コロナウイルス感染症流行への対応（中高部）…4
KCC だより ……5
神戸女学院教育振興会寄付金……16
神戸女学院2019年度決算報告、2020年度事業計画及び2020年度予算…17
大学報告
2019年度 神戸女学院大学図書館報告……22
2020年度 大学・大学院入学試験結果概要…23
2020年度 在籍学生数……23
2019年度 就職状況報告……24
2020年度 キャリアサポートプログラム（予定）…26
中高部報告
中高部図書室報告……27
2020年度中学部入学試験結果報告……27
学院日誌……32

下記ページは個人情報保護等のため掲載しておりません。ご了承ください。
7，14，22，28，30